

📷 11月定例会のご案内

「編集作業のメリハリ」、「ワンランクアップ講座」「Inter BEE 2022」他

◇編集作業のメリハリ

みなさん自宅で編集作業をされていると思いますが、編集作業をどのようにメリハリをつけてやっていますか？ 調子が良いので、深夜や明け方までやってしまうのでしょうか？ そんな編集作業事情を教えてください。

◇上河さんのワンランクアップ講座

撮影時にマーカーを活用して、気持ち良い画角を目指しましょう！

次回定例会は

2022年11月10日（木）19時～21時

Inter BEE 2022 開催!!

日本随一の音と映像と通信のプロフェッショナル展（Inter BEE）が、2022/11/16～18に、幕張メッセで開催されます。

👥 10月定例会のご報告

「腕章のデザイン」、「音声まわり」、「近況報告」他

10月定例会参加者

吉岡、高橋、近藤、赤岡、佐藤、野上、上河、脇田

◇「腕章のデザイン」（吉岡さん）

ビズネット公式腕章にデザインについて、皆さんと最終確認をしました。

◇「音声まわり」（吉岡さん）

①基礎知識

周波数、ビットレート、ファイル形式、指向性など音声録音する上で必要な基礎知識について

②事例

ピアノ演奏会の現場で、ピアノの中にマイクを差し込み、蝶番にかなり近づけて録音。

音場感のある（CDで聞くようなイメージ）音を収録することを目指した。

③M A（Multi Audio）

舞台前に置いたマイクとミキシングしたり、リバーブをかけて調整した。

Q 赤岡・リバーブを入れているのはなぜ？

A 近藤・音が生々しい時があるので、リバーブをつけると自然な感じになる。客席後方のカメラの横で臨場感のある音を撮る人もいる。

◇近況報告

吉岡「コンピューターウイルスにかかったみたいと近藤さんから連絡があり訪問。

無事解決できました」

佐藤「私の買ってよかったものを紹介します。

①フリー音源のartlistは権利が自由で使いやすい (<https://artlist.io/>)

②ワーカーホリックというお店で動画制作者向けチェアを買いました。GOOD！

(<https://www.iamworkaholic.jp/>)」

高橋「秋は運動会を5か所くらい撮影した。コロナの影響はまだまだあり、疲れました」

野上「この前の9月で入会して5年になりました。いろいろ体験できて感謝です」

上河「10月は運動会、ピアノ、セミナーを交互に撮影。順調にやっています」

近藤「自分の体調を考えて、今年いっぱい仕事をやめる予定です」

以上敬称略 文責：脇田

✍️ 会員コラム

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

吉岡さん「リスク管理」

（文責各筆者）

西湘のビデオ屋稼業

2022.9 月 高橋 昌一
(含むことあり:個人的、感覚的話し)

“今回はプチ情報、

●たまたま目に入った本で、「ビジネスに役立つ教養としての映像/動画」

(主婦の友社 / 木村博史著 / 2022.7.31 第1刷発行 / 1,700 円)を購入。

しかもなんと県西小田原の TSUTAYA で、です。なかなか良かったです。

YouTube 動画制作を意識した内容ですが、映画(=映像)の歴史や放送規格の変遷などにも触れられてありました。

「おれの知識・考え方とは違うなあ」というところも、もちろんありましたが、参考になった箇所も多く、今まで何となく理解できなかつたというの、何となく理解できましたし。

ちなみに、書籍を買うときのマイルールは、1,000 円で一つの新しい知識が入ればラッキー！と決めて購入しています。(損益はもちろん読んでみないとわかりませんが。今回は益 WW)

●8/28 に、昨年 9 月にオープンした小田原三の丸ホール(大ホール)で

ようやく初撮影を行ってきました。

今までコロナ禍で何度か撮影機会を逃していましたので、興味と緊張の時間でした。

ちなみに「照明」と「音の性質」は、今回以前にホールスタッフから情報収集してありました。

① 新ホールの照明は一部分に LED も使用されることもあり、初めての撮影ゆえ、どうしても「色」が気になって仕方ないのでゲネを撮影し、自宅で確認する。

やはり本番ではホワイトバランスを修正して臨むことになりました。(確認してよかったヨ！)

② 音響では、

「ステージ上と客席全体に、より多くの反射音を届けることを意図した作りのホール」との事ですが、その反射音はやっぱり気になります。

そこで EDIUSXPro のフリープラグインソフト Acon Digital EDIUS Editions(コンプレッサー、ノイズリダクション、リバーブリダクション、リミッター)の中のリバーブリダクションで処理するとかなり改善されました。このエフェクトは、お手軽な助っ人になる印象です。

そのほか、32bit フロート録音(Portacapture X8)を和太鼓演奏の音割れ保険のために、ステージ前にセット。気になるボリュームレベルはゲネ時にルーズにサラッと決める程度で OK(音割れ無し)でした。

ちなみに 32bit フロート録音については<https://wired.jp/article/32-bit-float-audio-explained/>に詳しい記載があり、参考になりました。

リスク管理

文責 アソシネット株式会社 吉岡

私の撮影の仕事の中で、骨折者を出してしまいました。重い荷物を持ったまま、階段を踏み外しました。それが、今回のリスク管理の話をする きっかけになっています。

一般の会社なら、今回の場合、労災保険の対象になっていると思います。しかし、私も含めて、ほとんどの方は労災保険には入っていないと思います。社長や個人事業主は自己責任になってしまいます。

いつものような、面白い話ではありません。が、大事な話だと思いますので、繁忙期の前、9月と11月、2月に注意喚起していきます。みなさん、慌てず、無理せず、怪我のないように撮影をしていきましょう。

以下は、2022年9月16日の定例会の内容です。出た意見をまとめています。

【小田原勉強会で講師が話していたこと：抜粋】

- ・ 緞帳が上り下りしている時、吊りものが動いている時は、その下を絶対に通らない。通りそうな素振(そぶり)もしない。
- ・ 搬入とかで、カメラを2台持つ、三脚を2台持つはNG。運搬のバランスは良いのだが、2台同時に壊さないように。
- ・ 手渡しは禁止。渡したつもりで、相手が受け取ってない場合がある。

【普段のこと】

- ・ 落下しそうな場所に、ものを置かない。2階席の前の部分。体育館の2階ギャラリーの床とか。
- ・ 落下しそうな場所に、機材を取り付ける時は、ワイヤー・ひも等、二重に固定するなど、絶対に落とさないようにする。養生テープだけの固定をしない。
- ・ 三脚やスタンドは、きちんと足を開き、テープやバラストで固定する。
- ・ 重い荷物を持って、階段の上り下りは十分注意する。ステージ上なら、一度床に置いてから受け取る。
- ・ 通路を横切る配線は、養生テープなどで、足に引っかからないようにする。
- ・ 人が通るところには、ものを置かない。置いたところには、テープなどで進入禁止にしておく。
- ・ カメラを無人にする時は、張り紙をする(←だけでは甘い)。お客さんに話して、一定のスペースを確保する。コーンを置くなど、人が入らないようにしておく。一人入ると、どんどん入ってくる。保護者を付ける。
- ・ 機材を動線に置かない。
- ・ ドローンは、ルールをきちんと守る。落下したときのためにドローン保険に入る。

【その他】

- ・撮影日の再確認
- ・交通事故、外出できない等、自分の意思とは別に、行くことができない状況があり得るので、事前にお客さんに伝えておく。

【熱中症予防】

- ・屋外では、必ず帽子をかぶる。
- ・こまめな水分補給。塩分補給。
- ・手足がしびれる、頭痛がする、ぼーっとする、など熱中症の症状がみられるときは(これはもう熱中症です)、我慢をせず、涼しい場所に行く。冷房を付けて車の中とか。

【新型コロナ対策】

- ・マスクをする。ソーシャルディスタンスを保つ。手を消毒する。
- ・37.5度以上の熱があるときは、自宅待機。
- ・検査。お客さんへの連絡

【あるある。実際あったこと】

- ・カメラを持っていると、転んだ時に、どうしてもカメラをかばってしまう。慌てない。
- ・準備、撤収の時間が少なく、だいぶ慌てる。
- ・先生に確認して、退場シーンを無人のカメラを置いたけど、子供が練習したコースではないカメラに向かって行って、ひっかけて倒した。カメラをコントロールできる人を置く。
- ・お泊り保育の暗闇で、寝顔を撮るときに、園児の体を踏みそうになる。慌てない。
- ・聞いてた話と違う。慌てない。引き絵が重要かも。
- ・先生や保護者と仲良くなっておく。

【保険関係】

- ・私が入っている日本生命では以下のような保険がありますが、他の保険会社でも似たようなのがあると思いますので、チェックしてください。
 - ・まるとマモル(人にケガを負わせてしまったときの保障) 個人賠償で検索
 - ・タフ・ケガの保険(自分がケガなどを負ってしまったときの保障) 傷害保険で検索